

5 社会貢献

社会と未来につながる貢献の輪を広げます



川崎重工グループは、事業外の社会貢献活動においても、「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する」というグループミッションに立脚し、自社の強みを活かしつつ社会の期待に応える取り組みに注力していきます。

目指す姿

地域社会・日本社会

地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します

国際社会

世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します

中期経営計画「中計2013」(2013～2015年度)期間中の目標・施策とアクション

目標・施策

- グループとしての社会貢献ビジョン、基本方針、重点領域を明確化し活動を推進している
- 社会貢献自主プログラムを推進している

アクション

- ビジョン、基本方針、重点領域、各組織の役割の具体化・明確化
- 社内体制の構築、活動強化、当社への期待の把握と活動への反映

2013年度の取り組み総括

2013年度は、次世代育成支援活動において、実験工作教室の開催地域を東京地区に拡げ、新しいプログラムを開発するとともに、推進体制も強化しました。

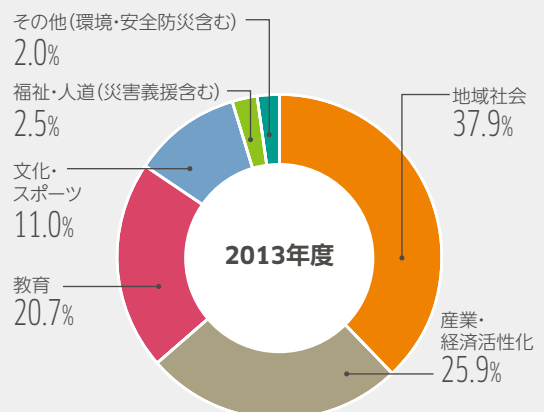
また、これまでに引き続き、各地への災害義援金のほ

か、企業ミュージアム「カワサキワールド」の運営、主に子どもを対象とした各種のイベント開催、文化・スポーツへの協賛、地域経済振興への協力、森づくり活動などを行いました。

社会貢献支出状況

個別領域	2011年度	2012年度	2013年度
地域社会	226	223	239
産業・経済活性化	142	137	163
教育	164	194	131
文化・スポーツ	55	65	69
福祉・人道(災害義援含む)	190	20	16
その他(環境・安全防災含む)	19	48	13
計	796	687	631
当年度経常利益	63,627	39,328	60,505
対経常利益率	1.25%	1.75%	1.04%

単位：百万円



- 寄付・協賛金、現物給付、社外組織への協力依頼に関わる費用、社外組織に派遣した従業員の労務費(当社負担分)等を含みます。
- 従業員の内部労務費・施設使用に関わる経費は含みません。

Focus

1 「マイクレーン車をつくろう!」

南三陸町で実験工作教室を開催

2013年11月5日、宮城県南三陸町立志津川小学校の6年生児童を対象に、「マイクレーン車をつくろう!」というプログラムで実験工作教室を開催しました。

当社では2011年度より、次世代育成支援ならびに東北地区の復興支援といった社会貢献活動の一環として、本教室を開催しています。前回(2012年度)の「マイヘリコプターをつくろう!」に引き続き、今回は油圧製品の仕組みを活かしたプログラムです。

「大きなものを動かす小さなチカラ」をテーマに、大小2つの注射器を使って押し合いをすると、小さな注射器が大きな注射器に押し勝つことから「パスカルの原理」を体験したり、クレーン車の模型を組み立て、大小2つの注射器をつなぎ、持ち上げる力の違いを実験したりと、「ものづくりの楽しさ」や「科学技術のすばらしさ」を体験してもらいました。



実験工作教室の様子



マイクレーン車

Focus

2 フィリピン台風被災支援

2013年11月、フィリピンは台風30号により深刻な被災に見舞われました。

当社グループは、この台風による被災者および被災地への支援として、義援金1,000万円の寄付とあわせ、救援物資として当社製二輪車 [KLX150] 10台と [Bajaj CT100] 10台を寄贈するなど、総額1,380万円相当の支援を行いました。

また、被災地での支援活動として、フィリピンにおける二輪車の製造・販売拠点であるKawasaki Motors (Phils.) Corporationでは、従業員が救援活動を行うとともに、タクロバン市のサービスセンターで被災した二輪車の無料修理キャンペーンを実施しました。

支援の輪は米国にも広がり、Kawasaki Motors Corp., U.S.A.では従業員有志が、被災地に一刻でも早く支援食糧を送り届けるために、約150,000人分もの食料の発送準備を一致団結し短時間でを行いました。



サービスセンターでの無料修理キャンペーン



Kawasaki Motors Corp., U.S.A.の従業員有志

東日本大震災復興支援2013

ジェットスキーの寄贈

2014年3月、岩手県宮古市および山田町、ならびに宮城県女川町のそれぞれの市町に、復興支援と今後の緊急時の備えとして、ジェットスキーを1艇(ジェットスキー (STX-15F))と牽引トレーラーを1台ずつ寄贈しました。今後も引き続き被災地の支援を実施してまいります。



寄贈の様子(宮城県女川町)

Focus 3 地域社会交流会(明石工場)

2013年11月4日、近隣地域の小中学生とその家族計102名をお招きし、バスツアーでの明石工場見学と企業ミュージアム「カワサキワールド」の見学を開催しました。

工場では、岡本事務所長から明石工場の歴史や仕事についての紹介とあわせて「地域とともに発展する工場でありたい」との挨拶をしました。お昼は工場の食堂で従業員と同じ工場食を食べて頂くなど、交流を図るよい機会となりました。

カワサキワールドでは、ロボットの正確で素早い動きのパフォーマンスに驚きの声が上がりました。また、新幹線やヘリコプターの実物などに直接触れ、特に新幹線の運転席では運転手になった気分でした。



工場紹介(明石工場)



本物のヘリコプターに搭乗(カワサキワールド)

Focus 4 「青少年のための科学の祭典2013全国大会」に出展

2013年7月27日～28日の二日間、「青少年のための科学の祭典2013全国大会」に出展しました。初出展の今回は、「マイヘリコプターをつくろう!」という当社オリジナルの実験工作教室プログラムを二日間で6回実施し、約140名の子どもたちに参加頂きました。

高校生スタッフと当社スタッフが一体となってコーチを行い、子どもたちはヘリコプター本体とローターを組み立てながら、ローターの揚力を測定したり、本体の回転を止める技術などを試したりと、休憩時間も忘れ取り組んでくれました。



実験工作教室の様子

参加者の声

スタッフとして参加しました

元気いっぱいの子どもたちが、作業が進むにつれて自分のヘリコプターをいかに綺麗に高く飛ばすかに集中していくのを感じました。

このヘリコプターづくりが、子どもたちの夢や目標のきっかけになれば本当に嬉しいことだと思います。



マーケティング本部
海外総括部 海外一部

尾上 社司

Focus 5 「サイエンスフェア in 兵庫」に出展

2014年2月2日、兵庫県内外の高校生や高専生が、理数分野での日頃の研究活動を発表するとともに、大学・企業・研究機関などとも交流する「第6回サイエンスフェアin兵庫」に出展しました。

当社は第2回から毎年出展しており、今回は当社が重点的に取り組んでいるエネルギー環境分野より、非食用の稲わらからバイオエタノールを製造する技術について紹介しました。

このような交流を通じて、多くの高校生や高専生が科学への興味や関心を深め、「将来の自分探し」のヒントにしてくれたらと考えています。



熱心に聞き入る学生たち

参加者の声

プラントの新技术をPRしてきました

当社では他にもエネルギー・環境分野の製品を多く取り扱っていますが、今回を機に、プラントのスケールの大きさを知ってもらうと同時に、当社の製品を身近に感じてもらえる良いきっかけになればという思いが伝わったと思います。



プラント・環境カンパニー
化学・低温貯槽プラント総括部
化学プラント部 設計二課

小原 遼二

Focus

6 米国での社会貢献基金の運営

Kawasaki Good Times Foundation

川崎重工グループは、モーターサイクル・鉄道車両・ロボット・精密機械・建設機械などの事業拠点を米国に設置しています。これらの拠点は、それぞれ単独に、また相互に連携して、米国社会に根付いた活動を行っています。

その活動の一つが1993年に設置された「Kawasaki Good Times Foundation」。これらの拠点が毎年の

利益の一部を基金に積み立てています。

この基金は当社の米国現地法人であるKawasaki Heavy Industries (U.S.A), Inc.が管理・運営し、メトロポリタン美術館などの芸術・文化施設や各種慈善事業、ならびに教育・医療・科学の振興活動や被災地支援活動などに寄付されています。

Focus

7 「第3回神戸マラソン」ゼッケンスポンサーとして協賛

当社は、「感謝と友情」をテーマに開催される神戸マラソンに、第1回から男子のゼッケンスポンサーとして協賛しています。

2013年11月17日に開催された「第3回神戸マラソン」では、従業員の有志(139名)が沿道での給水ボランティアとして、神戸の街を駆け抜けた約2万人のランナーを応援しました。



給水ボランティア

Focus

8 森づくり活動を通じた自然共生社会実現への取り組み

当社グループは、自然共生社会の実現を目指して、高知県、兵庫県、宮城県の3カ所で、森づくりを中心とする生物多様性保全活動に取り組んでいます。

最初の活動地である高知県仁淀川町では、2007年より企業と地元自治体が協働して森林の再生に取り組む高知県「協働の森づくり事業」に参画し、毎年、新入社員が間伐などの森林保全活動を行うとともに、地域の方々との交流も深めています。

兵庫県では、2008年より兵庫県「企業の森づくり事業」に参画し、多可町の「川崎重工西谷なごみの森」と名付けた活動地で、春と秋に社内で参加者を募り、植樹や枝打ち・間伐および自然観察会などを行ってきました。2013年10月までの5年間で約1,000名の従業員と家族が活動に参加し、整備した森林が吸収したCO₂の量は61.6t-CO₂となり、多可町から交付された「CO₂吸収量認証書」で認証されています。

また、宮城県では2011年から震災被災地での地域貢献活動として、仙台地区に事業所を置く当社グループの従業員と地元の有志が参画し、仙台市内の里山で枝打ち・間伐などの森林整備活動を行っています。

各地での森づくり活動を地域社会と協働して推進することで、人と自然の共生の実現に貢献していきます。



【高知県】新入社員による間伐作業



【兵庫県】従業員による森林整備活動



【宮城県】当社グループ従業員と地元有志による森林整備活動